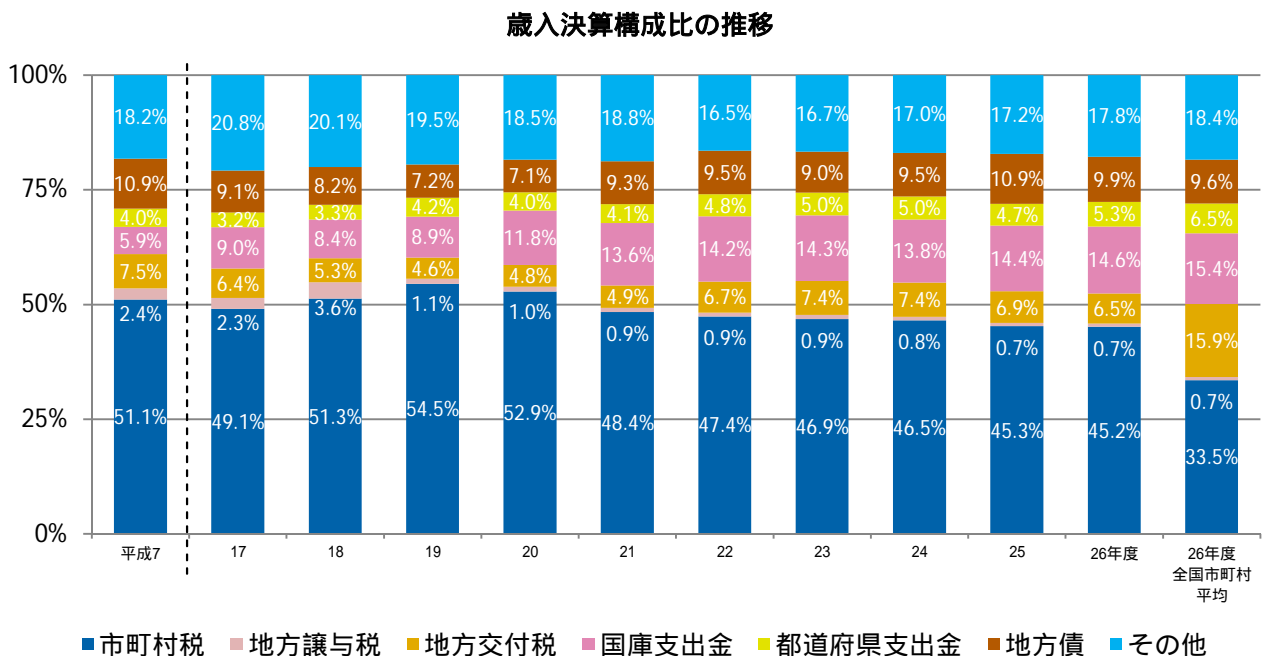
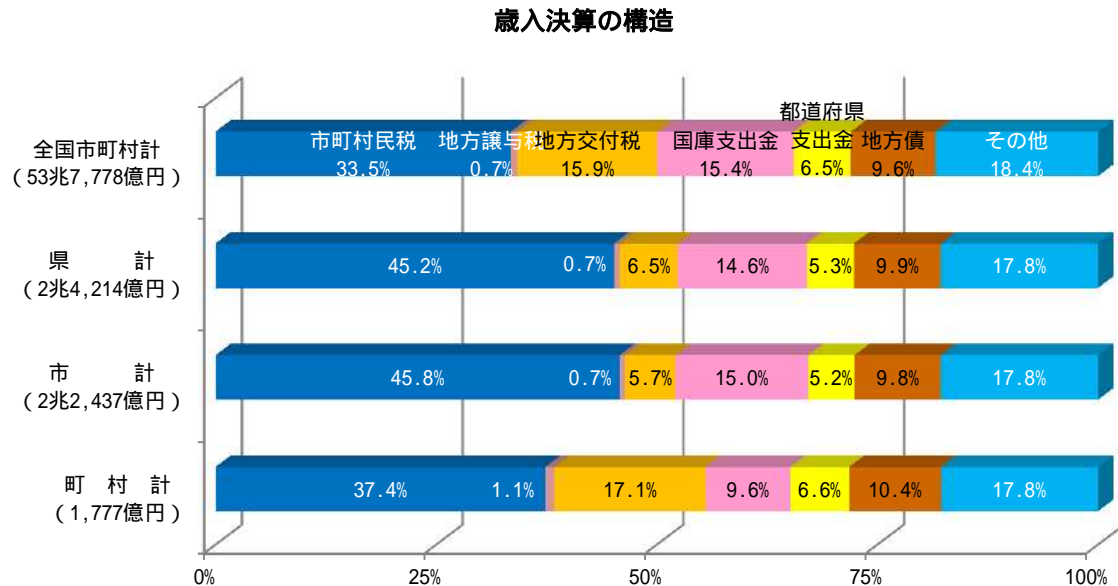


2 歳入

(1) 歳入構造

平成26年度の歳入は、2兆4,214億3千万円で、前年度に対して534.9億円(+2.3%)の増加となりました。

歳入に占める割合は、多い方から市町村税(45.2%)、国庫支出金(14.6%)、地方債(9.9%)、地方交付税(6.5%)の順となりました。



- 用語解説 -

地方税(市町村税)

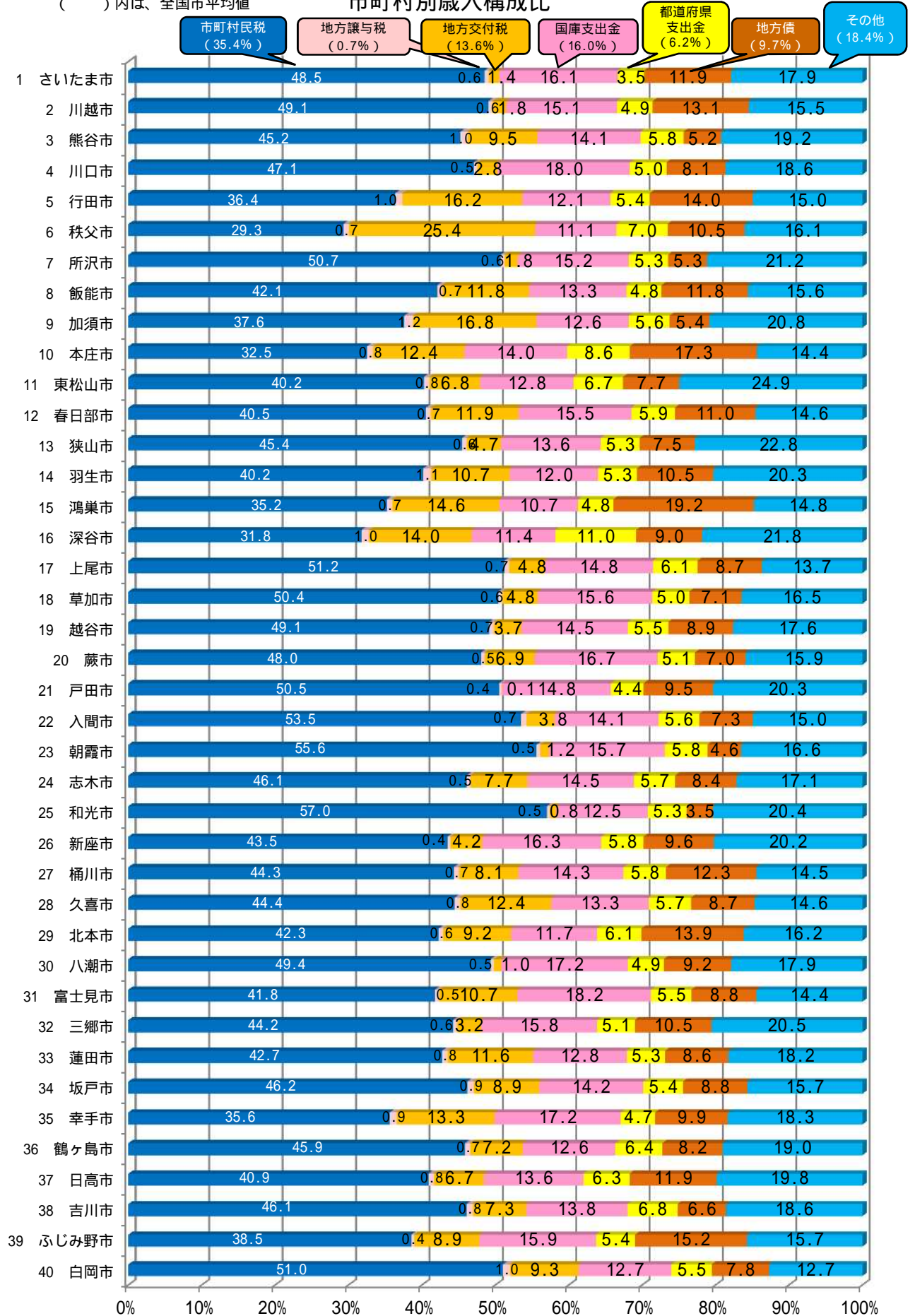
地方公共団体が仕事を進めていくために根本になる財源で、その地域に暮らし、活動し、消費している個人や法人が負担しているものです。地方税には都道府県が課税する都道府県税と市町村が課税する市町村税があります。

地方債

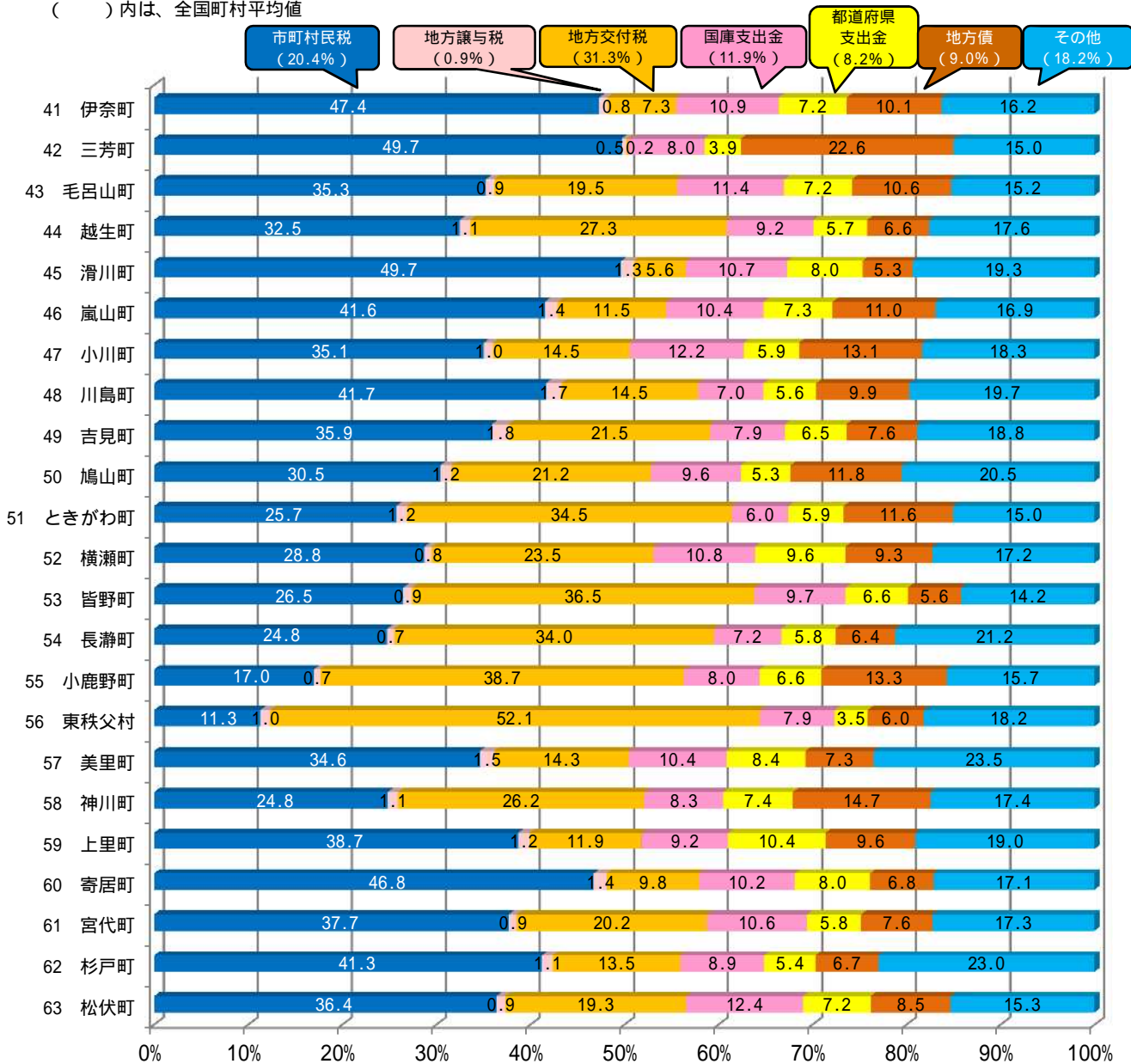
地方公共団体が、必要とする資金を外部から調達するために負担する債務で、その返済が単年度でなく、複数年度にわたり行われるものです。

()内は、全国市平均値

市町村別歳入構成比



()内は、全国町村平均値



【再掲】歳入決算の構造

